

分科会報告 ⑥

1. コーディネーター 日野 暁子
2. テーマ 人生のマネープラン
3. 参加者数 10名 (宮城県 1名 山形県 8名内1名欠席 福島県 1名)
4. ディスカッション内容

はじめに

メンバーの方には、はじめにこの分科会を選んだ理由についてキーワードをいただきました。キーワードは以下の通りです。

①将来、年金が少なくなってしまうことに不安を感じているため。②家なし、貯金なしの50代です。定年を前に不安も感じています。③老後に対してのマネープランについて。子供たちへ対してのマネープランについて。④貯金が思うようにできない。⑤金融に興味があることと、将来設計においてどのようなマネープランを立てるべきか気になったため。⑥社会人になって入ってくるお金や使い方など変わっていくと思ったから。⑧お金の使い方を失敗しないために。(自分はお金の使い方が荒いとよく言われる)⑨リタイヤ後の生活資金と子育て資金。

内容

参加者9名のうち社会人が4名、大学生が2名、高校生が3名でした。皆さんから出していたキーワードの幅が広がったので、全体の方向性として社会人生活の基盤となるマネープランとリタイヤ後のマネープランをイメージしてもらえる場にしていただきたい、お伝えしてスタートしました。

年代差が大きく、また、様々な立場の皆様ならではの意見が出ました。高校生の3名は、就職が決まっています、社会に出る時のお金についての学びの場として選んだ。また、次のステップとして学びたいことがあり大学に入る資金を準備したい。大学生のお二人は、海外就職や移住を考えている、目指す職業があって大学の編入を予定している。など、具体的で今まさに膨らんでいる夢と目標とが感じられ、しっかり未来を見据えて生きている姿に素晴らしいと賞賛の声が上がりました。社会人メンバーから学生の皆さんに、ご自身の経験に基づくアドバイスもあり、どんどん場が和んでいきました。

一方、社会人メンバーを中心に、リタイアメント後の第二の人生を歩む不安の声が聞かれました。老後資金を準備するための貯金の仕組みづくり、公的年金制度、確定拠出型年金、年金保険の制度概要をお伝えしました。また、子供が社会に出る時のマネープランを伝えてあげたいとお話もあったので、財形貯蓄制度やクレジットカード、預金引き落とし時などの手数料、奨学金制度の概要などをお伝えしつつイメージを作っていました。

まとめ

ライフプランという、自分のイメージする夢や目標などの将来の計画を立てて、ライフプランを実現するためのマネープランを考える、生活や人生を豊かにするための計画は楽しいものだと思います。これからの人生を前向きに生きている女性ならではの視点がたくさんあり、私自身もとても勉強になりました。参加者の皆さんから、活発な意見交換をいただき、本当にありがとうございました。